



# 東実同窓会報

No.35

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会広報部  
<http://www.tojitsu-dosokai.com>

## 就任2年目を迎えて！



会長 酒井 利夫 (第53期)

同窓会会員並びに学校教職員の皆様、平素より同窓会活動にご理解ご協力を賜り誠に有難うございます。

私は今年度会長を拝命いたしまして2年目となります。

長年にわたる新型コロナウイルス感染症の影響により、同窓会行事、活動等に規制を受けて恒例となっていた懇親旅行、新年会は止むを得ず中止いたしました。

私が会長を拝命しました初年度に、ようやく規制が緩和され徐々に活動再開となりましたが、すべての行事がコロナ禍以前のような実施形態に戻ったわけではありませでした。

今年度は、昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、ようやく行事については以前と同じような形で活動ができるようになりました。しかし、なかなか行事に参加いただける会員（同窓生）は少なく、活気に満ち溢れているというところまでには至っていない状況です。

来期、私が会長に再選されれば2期目に入ります。

同窓生の皆様の中には、コロナ禍で外出を控えて出無精気味の方もいらっしゃるかと存じますが、同窓会も学校行事に参加しており、文化祭（東実祭）には、各年度の卒業記念アルバムの公開や会員の作品展示。体育祭には、同窓会長賞のカップ贈呈などを行っております。同窓会関係者の参加、観覧は可能ですので、ぜひ学校（会場）にご足労いただきご参加いただければ幸いです。

同窓会の現況を申し上げますと、コロナ禍以前には積極的に行事等に参加して下さった先輩会員の方々が、高齢になられたこともあり、参加人数は減少傾向にあります。その為、若い世代の会員の方たちにも積極的に参加してもらうよう新規会員の参加促進を行っております。ご都合がよろしい方は、ぜひご参加ください。

また、兄弟校（東京高校・東北高校）の同窓会との交流を深め連携体制を構築していきたいと考えております。さしあたって、同法人（上野塾）である東京高校同窓会とは日々連携を取りながら、お互いの発展に尽力して参る所存でございます。

今年度も第99期生の後輩たちが、それぞれの進路に向けて巣立って行かれます。くれぐれも健康に留意され益々のご活躍されますことをお祈り申し上げるとともに、ぜひ同窓会行事に参加され、近況などをお知らせいただければ幸いです。

また、常任幹事を随時募集しております。各クラスから選任された同窓会幹事のほか、同窓会活動にご協力していただける方は、自薦他薦は問いませんので、いらっしゃいましたらご連絡いただければ幸いです。

最後に東京実業高等学校の益々のご発展と、同窓会会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

(令和6年1月25日 記)

～ふれあいと語らいの同窓会～京実業高校同窓会では、同窓会のネットワークを通して  
会員相互の好誼と母校の興隆を図ることを目的としております。



### 東京実業高校同窓会のホームページ



## 会報 35号に寄せて



理事長 上野 雅子

2019年に始まったコロナウィルス感染症も丸4年となり、2023年にやっとインフルエンザと同等の扱いとなり、ようやく私達の生活も元の生活に戻りました。

学校も又、いろいろな行事が出来るようになって、高校生活での思い出作りにかかせない修学旅行も実現し、体育祭、東実祭なども以前と同じように行う事が出来たので、きっと生徒達も満足したと思います。

同窓会の皆様もここ数年は、一同に会して楽しい時を過ごす事もままならず、おそらく早く懐かしい友人と会い楽しい時を過ごしたいと考えていらっしやっただ事でしょう。令和4年10月に創立100周年を祝った祝賀会から早や1年数ヶ月が経ち、令和5年6月には同窓会総会も開かれ、沢山の皆様と再会出来ました事は、本当に喜ばしい事でした。

私が理事長に就任してから早や35年が経ちましたが、

始めの頃に参加した総会でお会いした同窓生の皆様とは、その後長いお付き合いをさせて頂きました。その方々も次々と鬼籍の人となり、今では本当に懐かしい思い出ばかりです。その中でも長らく同窓会会長をなさって下さった村松濱代様は、父幸一からの御縁でしたし、その後会長の本田位公子様とは、女子部が出来た当時からの御縁ですし、その他いろいろな集まりの時にお会いした同窓生の方々とは、本当に仲良くお付き合いさせて頂きました。年中行事となっていた年一回の懇親旅行も、学校発のバスの中からすでに盛り上がり、様々な温泉に連れて行って下さった事も良い思い出となって目に浮かんできます。また、何かの折に、ある同窓生の方から戦争中に戦地で、父幸一が同じ部隊に入隊してきて、上官だったその方が、いろいろと面倒をみて下さった事を話して下さい、縁というものはどこに繋がっているか分からないものだと感じた事を未だに覚えております。

教師という職業は、各方面に教え子がおりその分、生き方も教師自身が手本となるようであればならないと思います。この学校の同窓会は本当にしっかりした絆で結ばれており、同窓生の皆様が、東京実業高校愛に溢れている事を常に感じ、心より感謝しております。

今後も又、次の100周年に向けて発展してまいります事を誓い、皆様には変わらぬ御支援、御鞭撻をお願い申し上げます。

(令和5年11月11日)

## コロナ禍以前の状況に戻りつつある教育活動



学校長 國分 達夫

今年度は、2020年4月に新型コロナウイルス対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されてから3年が過ぎ、ようやくコロナ禍以前の教育活動に戻りつつあります。このような状況の中で、10月28日、29日に東実祭が行われました。これまでの東実祭を通して、教育活動の変化の様子をお伝えしたいと思います。

2020年の緊急事態宣言が発令された年には、東実祭の中止はやむなしと考えていましたが、生徒たちの熱意に支えられた創意工夫により、オンラインによる東実祭を実現しました。

2021年には、対面の形式で実施することが出来たものの、展示物やイベントには、感染防止の大きな制約がかかり、また、外部からの招待者はなく、生徒、教職員のみで行うものとなりました。しかも、生徒は、午前組と午後組に分かれての変則な形式での実施となりました。

2022年の昨年は、コロナ収束が見えない厳しい社会状況ではありましたが、伝統であった模擬店の復活を実現させました。当時は、模擬店を実施する高校はほとんどないような状況でしたが、実行委員会の生徒たちは、対

面での販売をしないでチケット方式にするとか、飲食場所を限定して一方向を向いた座席設定をするなど、あらゆるコロナ対策を徹底しつつ、厳しい管理の下で実施をしました。この結果、感染者を出すことなく、所期の目的を見事に達成することが出来ました。

そして、今年度は、コロナ以前の伝統的な東実祭を引き継ぎつつ、ここ数年の経験から学んだ知識と知恵を活かして、新たな東実祭を創造しました。その意気込みは、テーマの「東実魂～新たな歴史を繰り広げる輝かしい文化祭」に表れています。今回の課題の一つに、感染症対策、特にインフルエンザ感染症への対応がありました。何故なら、他校では、文化祭終了後に、学年閉鎖となったり、複数のクラス閉鎖をしたりという状況があったからです。本校では、他校からの情報を活かしつつ、実行委員会の生徒の皆さんと顧問団の先生方が中心となり、これまでに培ってきたノウハウを着実に実行することにより、感染症対応を的確にやり遂げました。また、展示物やイベントにつきましては、「東実祭とは、ただ単なるお祭りではなく、授業や部活動などでは学ぶことのできない力や人間性を学ぶ場であり、友達とともに互いに成長する場である」ということを理解した意識の高い取り組みとなりました。在校生の皆さんは、東実祭の取り組みで学んだ成果を、今後の高校生活に活かして、遅く成長していくことを確信しています。

最後になりましたが、同窓生の皆さまには、東実祭の成功に向けて、様々なご支援ならびにご協力を頂きましたことを厚く御礼申し上げますとともに、今後とも、在校生の更なる成長に向けて、ご指導とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

(令和5年11月13日)

## 学校の近況報告



副校長 武田 一郎

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症は、本校の教育活動のみならず、同窓会の皆様の活動にも大きく影響することとなりました。しかし、今年度は、新たな生活様式を作り出し、これまでの東京実業高等学校の取り組みをさらにアップデートしたものへと挑戦してきました。体育祭、東実祭の実施等まだまだ制約はありますが、無事に終えることができました。

以下に、学校の現況について報告させていただきます。

### 1 新入生 (101期・令和5年4月入学)

コース	生徒数
普通科探究コース	30名
普通科総合コース	142名
普通科ビジネスコース	50名
機械科機械システムコース	24名
電気科電気システムコース	26名
電気科ゲームITコース	40名
合計	312名 (男子272名、女子40名)

### 2 教職員の異動 (2023年春) ※敬称略

退職：横田 正明(国語科教諭)、山下 秀徳(体育科教諭)  
村上 信人、村山 隆(機械科教諭)  
長谷川 浩(電気科教諭)

### 3 在校生の活躍

#### ① 東実スカラシップ表彰生徒

奨学金の種類		3年生	2年生	1年生	合計
学業		-	5	6	11
資格 ・技能	ゴールド	1	3	0	4
	シルバー	5	18	1	24
	ブロンズ	20	18	7	45
スポーツ ・文化	ゴールド	0	1	0	1
	シルバー	0	0	0	0
	ブロンズ	1	1	2	4
合計		27	46	16	89

#### ② 「体育祭」を実施

6月21日(水)に駒沢体育館にて全校生徒による体育祭を実施しました。コロナ禍ではできなかった全校生徒が一堂に会した、体育祭を実施しました。感染症対策を万全にしての開催となりました。予行練習も最小限にして本番を迎えましたが、体育科の先生方の周到な準備と実行委員会の生徒たちを中心に想像以上に盛り上がった密度の濃い時間を過ごすことが出来ました。今回も残念ながら、在校生のみでの開催で、保護者や同窓生の皆様のご来場はご遠慮いただきましたが、来年度こそは従来の保護者や同窓会の皆様にもご参加いただける体育祭を開催できればと思います。

#### ③ 「東実祭」を開催

今年度は10月28日(校内開催)と29日(一般公開)の土日2日間にわたり東実祭を開催しました。ただし、今年度もインフルエンザ等の感染防止を考え、学校関係者はマスクを着用し、来校者の方々にも着用を推奨するようにお願いしていくこととしました。また、開催時間は、昨年度は午前の部と午後の部と完全入れ替え制でしたが今年は、入れ替えなしで午前9時から午後3時までとし、実施いたしました。3年生が楽しみにしていた模擬店についても、購入後の飲食スペースの確保などを実行委員会の生徒を中心に準備し、大きなトラブルもなく実施できたと思います。他校では、文化祭後にインフルエンザによる学校閉鎖を余儀なくされたところもありましたが、無事に開催できましたこと、とてもうれしく思っています。今年度も実行委員会の生徒たちが良く動き、様々な工夫を凝らした東実祭の実施は、生徒たちの今後の活動への大きな自信になったと思います。また、同窓会の皆様にもご参加いただきまして誠にありがとうございました。

#### ④ クラブ活動

##### ○野球部

- ・選手権大会(7/12) 高島高校4-5 敗北
- ・秋季都大会(10/7) 早稲田実業1-13 敗北(5回コールド)

##### ○男子サッカー部

- ・高円宮杯都リーグ3部 9位
- ・全国選手権大会東京都本予選進出 Aブロック ベスト16  
\*田中 玲音 (02D) 鹿児島国体東京都代表出場、  
U-17 日本代表選出

##### ○陸上競技部

- ・1月 第28回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会  
尾熊 迅斗(02B) 4区区間3位(14分17秒) 東京都3位
- ・2月 第55回青梅マラソン 10k 高校生の部  
尾熊 迅斗(02B) 優勝(30分30秒)  
室井 真(03D) 3位(31分19秒)  
渡辺健太(03D) 6位(31分39秒)
- ・6月 第39回 U20 日本上競技選手権大会  
尾熊 迅斗(03B) 1500m 優勝(3分47秒34)
- ・8月 第76回全国高校総体陸上競技対校選手権大会  
尾熊 迅斗(03B) 1500m 7位(3分51秒06)  
5000m 予選敗退
- ・11月 全国高校駅伝大会東京都予選(荒川河川敷コース)  
男4位入賞。結果、関東大会に出場(11/18)

##### ○マーチングバンド部

- ・ジャパンカップ 優勝(R4/12/10)
- ・ジャパンカップ 優秀賞(8/25、27)
- ・関東大会 「銀賞」受賞(11/12)

##### ○レスリング部

- ・全国高校選抜大会(3/27)  
92kgフリースタイル 猪越 俊(M1A) 出場
- ・JOCジュニアオリンピック(4/15)  
65kgグレコローマン 岡崎 蒼太(M3B) 出場  
92kgフリースタイル 猪越 俊(M2A) 出場

#### 4 教職員の永年勤続表彰 ※敬称略

- 勤続20年 湯尻 英明(商業)
- 勤続10年 田中 秀明(理科)、小泉 佐和子(数学)  
児島 大祐(体育)、遊佐 みゆき(商業)  
保川 晶子(事務)

## 普通科・近況報告

### ◆文理・探究・総合コース

文理・探究・総合コース  
コース長 寺岡 しのぶ



今年度の本校では、学校6日制新カリキュラムが導入し、探究コース・総合コースの2つのコースとして生まれ変わり2年目を迎えました。2つのコースは、共通の目的として、①大学進学を目指して学習すること②総合的な探究の時間や探求学習を通して、自分の興味関心を知り、文理選択について考え、自分の卒業後の適切な大学選びにつなげるという考えです。

今年度の取り組みの中では、Benesse社の「進路サポート」を取り入れ、スタディサポート実力テストを4月・9月と学期の最初に行い、現在の実力と現状を理解します。また、学期の終わりには、実力診断テストでG T Z（合格到達ゾーン）を出して全国の偏差値を知り、合格可能な大学や科ごとの弱点把握を行いました。

また、今年度は特に探究コースの生徒全員必修で、大学の模擬授業を受けてもらい、自分の興味関心や進路選択を具体的に身近に考えてもらうということを行いました。2学期は、経済、経営、情報サイエンス、国際の4分野の中から選んで受講してもらいました。3学期は、生徒の志望アンケートをもとに希望に近いものを選んで受けてもらえたらと考えています。

文理コース・探究コース・総合コースでは、基礎学力を高めながら、高校卒業後の大学進学に向けて学びに向かう姿勢や学び続ける力を身につけてもらいたいです。その上で、大学受験において志望校への合格を勝ち取って欲しいと考えております。

(令和5年12月8日)



探究集会

### ◆ビジネスコース

ビジネスコース  
コース長 湯尻 英明



普通科ビジネスコースは現在160名の生徒が在籍し、ビジネスの専門性を高めながら、様々な検定試験（簿記・情報処理・ビジネス文書・社会人常識マナーなど）に挑戦し個人の能力を向上させています。

令和5年度においては、1学年は東京証券取引所、2学年は羽田空港グランドハンドリング、3学年は浅草観光産業と校外での社会科見学を実施し、より実践的な知識習得に努めました。また、東京実業高等学校の地元蒲田への絆も強く意識したいと考え、蒲田西口商店街振興組合の方々にご協力を得て商店街でのフィールドワークも実施することができました。今後高校生としてどのような地域貢献ができるのか、少しずつではありますが歩みを進めていきたいと考えています。

ビジネスコースでは高校3年間の学び中で、新たな発想や、課題解決につながる考え方や、社会人基礎力を磨きながら成長につなげ、努力を継続していきます。

(令和5年11月15日)



羽田空港



東京証券取引所

## 機械科・近況報告

### 機械システムコース



機械科科长 砂本 眞

機械システムコースではこれからのモノづくり人材を育成すべく機械科教員一同邁進してまいります。

在籍人数は1年生22名、2年生24名、3年生36名、計82名です

各クラスの担任は、次の各先生です。

- 1年生A組：松田 稔(体育)
- 2年生A組：砂本 眞(機械)
- 3年生A組：羽田 雄(機械)
- B組：上原 直輝(社会)

現在の実習内容は1年生で機械、溶接、電子工作、2年生で機械、材料試験、デジタルデザイン、3年生で機

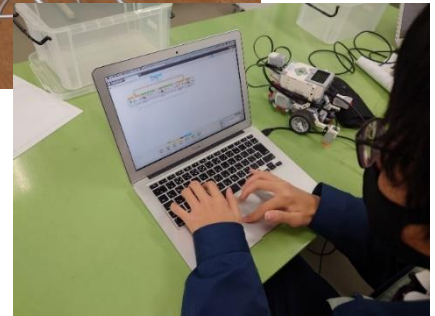
械、NC/MC、ロボット、CADを行っております。資格取得に関して、高所作業車特別教育に20名が合格、また、今年度も国家資格「第二種電気工事士」に機械科2年生が5名、3年生が2名合格しました。

同窓会の益々のご発展と同窓会の皆様の御多幸をお祈りし、機械科の近況報告とさせていただきます。

(令和5年11月16日)



溶接生徒作品



レゴマインドストーム

## 電気科・近況報告

### 電気システムコース

### ゲームITコース



電気科科长 深川 剛

電気科に実習助手として木内文雄先生が奉職され新しい体制で令和5年度がスタートしました。今年度は電気システムコース26名(女子2名)、ゲームITコース40名(女子3名)の計66名の新入生を迎えることが出来ました。現在電気科は電気システムコース74名、ゲームITコース124名の合計198名の在籍数(11月1日現在)となり、クラス数は電気システムコース全学年が1クラス、ゲームITコース1、2学年が1クラス、3学年が2クラスの計7クラス体制となっております。

昨年3年ぶりにリアル開催された「東京ゲームショウ」ですが、今年度は制限のないコロナ前と同様の内容で実施され、ゲームITコースの3年生が制作したオリジナルゲームの発表を中心に出展することが出来ました。4日間で24万人の来場者(コロナ前の2019年は26万人)があり、本校ブースも大いに賑わっていました。

同窓会報で毎年報告しております、「第二種電気工事士」の合格者ですが、今年度は37名の生徒が技能試験にチャレンジしました。期末試験終了から終業式まで午前中は様々な学校行事が行われたため、午後3時間だけの講習会となりました。見事35名(電気科28名、機械科7名)

の生徒が合格を果たしてくれました。技能試験合格率は94.6%となっております。「第一種電気工事士」では10月に筆記試験が行われ、電気科の福島先生、木内先生指導の下、9名(機械科1名)が合格しました。再チャレンジ3名を加えた12名が12月10日(日)に行われた技能試験を受験しました。結果9名が見事合格しました。

来年度も嬉しい報告が出来ますように電気科一同指導して参りたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



東京ゲームショウ2023の本校ブース



令和5年度第二種電気工事士合格者

## 部活動・釣り部

## 生徒会・活動報告



釣り部顧問 小島 茂

釣り部は現在、1年男子3名、2年男子9名、3年男子3名の合計15人で活動しています。毎週金曜日ミーティングを行い、月1回釣行をしています。

4月は市ヶ谷フィッシングセンターで鯉を釣りました。5月はみなとみらいの女神橋付近でサヨリを狙いました。6月は新山下の打木屋より仕立て船でアジを釣り、7月のバリバスカップに向けて船釣りの予行演習をしました。

7月25日参加校20校、参加者174人のスポーツニッポン主催の【バリバスカップ2023「U-18選手権東京湾マアジ釣り大会」】に参加しました。2020年には団体3位入賞を果たした大会です。マアジ5匹の総重量で競います。本校は3チームエントリーをして、見事に東京実業Cチームが1.30kgの釣果で総合優勝を成し遂げました。30センチ級のマアジを2匹釣り上げ優勝に貢献したのは、I T 1 Aの平井煌詩君でした。

六郷の船宿ミナミより出船し、富津沖から木更津沖の水深15メートルの捨て石周りで居着きの良型を連発しました。大会成績は優勝東京実業、2位立花学園、3位逗子開成、4位立花学園B、5位保善でした。

その様子は2023年7月28日付のスポーツニッポンの紙上で詳細に、またチーム全員の写真も掲載され、とても思い出に残った1日となりました。

9月は鮫洲橋でハゼ釣り、10月の江戸川砂典でのハゼ釣りは天候不良の為中止、11月は本牧海釣り公園、12月は弁慶フィッシングセンター、1月は王禅寺でマス、2月は大黒海釣り公園と釣行の予定があります。

これからも部長の関根勝先生と共に、部員に安全で思い出に残る釣行をして参ります。



(令和5年11月14日)

生徒会会長 加藤 太一  
(電気科ゲームITコース2年)

## 令和5年度 生徒会報告

現在の生徒会執行部は、1年生6名、2年生6名の計12名で活動しています。

令和5年度の生徒会執行部の主な実績として、体育祭運営・東実祭運営・先生と生徒の懇談会・校則見直しプロジェクトなどを行いました。

現在は3年生の卒業に向けて、三送会の企画や生徒会広報誌「蒲公英」の作成を行っています。

今年度の『体育祭』では、感染拡大に十分注意しながら全科合同で生徒全員が全力で取り組み、楽しみました。

また、『東実祭』は2日間の開催、及び模擬店を出店することができました。今年の東実祭は、招待できる人数を増やし、中学生や保護者・卒業生の方などの入場を無制限にし、昨年より大きな規模で開催となりました。生徒全体にマスク着用を義務付けるなど学校全体で感染対策に取り組んだおかげで、クラスターが起きることなく2日間の東実祭が無事に終了することができました。準備期間も実行委員を中心に生徒一人ひとりが準備する姿をみて感動をも与えられました。来年度もこのような2日間で開催されることを祈っています。

9月に行った『先生と生徒の懇談会』では、クラスの代表生徒が集まり先生と生徒間で議論しました。生徒も先生も互いの考えをより深く知ることができ、これからの代議員の活動で活かせるような意見が沢山出ました。生徒会や代議委員間で話し合い、今後の学校改善につなげるようにしていきたいです。

100周年記念から始まったプロジェクト「校則見直しプロジェクト」が今年度も行われました。先生と生徒の懇談会から出された意見をもとに生徒自ら校則を提案し、より良いものになるよう議論を重ねました。

現在、生徒会執行部は、昨年より少ない12名で活動しています。新しく入った1年生はまだ未熟な所もありますが、これから成長していき、学校を背負って立つ立派な生徒会の一員になると期待しています。2年生が引退し、1年生主体となる時期まで残り少ないですが、精一杯努力したいと思います。今年度の残りの生徒会は1年生中心に活動していき、来年度より良い生徒会となるように引き継いでいきたいです。

保護者並びに先生方からの沢山の応援のおかげで、今私たちは活動できています。ご協力頂いた方に感謝すると共に、期待に応えられるように東京実業高校の新たな伝統を築き上げていこうと思います。

(令和5年11月15日)

## 定期総会報告

### 第43回(令和5年)定期総会

第43回(令和5年)定期総会は、令和5年6月3日(土)15時より、総勢53名の出席のもと、プラザ・アペア(蒲田)にて開催されました。

議事に先立ち、鬼籍に入られた会員並びに同窓会関係者に黙禱が捧げられたあと、酒井利夫会長及び國分達夫名誉会長(校長)より挨拶があり、総会の召集権のある会長が議長となり、次の6議案が上程され、審議いただいた上で原案通り承認可決されました。

第1号議案 令和4年度事業報告の件

第2号議案 令和4年度収支決算報告並びに監査報告の件

第3号議案 令和5年度事業計画(案)の件

第4号議案 令和5年度収支予算(案)の件

第5号議案 会則一部変更(案)の件

第6号議案 異動に伴う役員改選(案)の件

議事終了後、改選役員の紹介に次いで、出席された卒業後5年以内(～98期)の幹事及び会員らが紹介され、それぞれより自己紹介を兼ねて挨拶していただきました。

続いて、令和4年度2年生(現3年生)の東実スカラシップ(学業・資格・技能・スポーツ・文化、特別)の認定授与式を行う予定でしたが、大型の台風2号の影響で学校が臨時休校となったため、授与式は取り止めとなり、小畑雅一副会長(特命担当部長)より全校の認定奨学生(給付状況)について報告していただき、式次第がすべて終了し閉会となりました。なお、第6号議案では本年度非改選期であるため、下表の4名の改選が行われ、全員が選任され、それぞれ就任いたしました。

卒期	氏名	役職名		備考
		現任	改選	
35	木村 恭久	会計監査	退任	辞任届出
38	池上 良信	新任	会計監査	欠員補充
54	村山 隆	校内幹事長	相談役	教諭退職
69	小島 健市	校内幹事	校内幹事長	

※改選後の同窓会の組織体制は、9ページの「令和5年度同窓会組織図」のとおりです。

### 総会後の懇親会

総会終了後、隣接の会場にて総勢57名の出席のもと、懇親会が開催されました。開宴に先立ち酒井利夫会長の挨拶に次いで、ご来賓の学校法人上野塾上野雅子理事長並びに東京高校同窓会会長三枝香容子様よりご祝辞をいただいた後、小畑雅一副会長(特命担当部長)より学校行事、各クラブの活動などの母校の近況報告をしていただきました。続いて、小島健市校内幹事長(教諭)より出席教職員の紹介があり、それぞれより自己紹介していただいた後、武田一郎副会長(副校長)の乾杯のご発声により開宴となりました。出席者の最年長は89歳、最年少は19歳と年齢差70歳のOB・OGが一堂に会して交流するという同窓会ならではの和気藹々とした楽しいひと時を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して閉会となりました。

### 令和5年度事業計画(第3号議案)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日まで)

#### ■ 総務部(定期総会及び庶務一般等に関する事業)

- 第43回(令和5年)定期総会並びに懇親会の開催
  - 定期総会
    - 日時: 令和5年6月3日(土) 15時～
    - 場所: プラザ・アペア
  - 懇親会
    - 定期総会終了後、隣接会場にて開催
    - 参加費: 3,000円(卒業後3年以内の会員は無料招待)
- 拡大幹事会の開催
  - 日時: 令和5年11月17日(金) 18時～
  - 場所: プラザ・アペア
  - 会費: 3,000円
- 庶務一般関係
  - 会員名簿の整理及び作成
  - 会員の同窓会事業への参加促進活動
  - 卒業記念アルバムの管理
  - その他
    - 常任幹事会等の開催
    - 新幹事会との懇親会の開催
    - 学校行事への出席

#### ■ 事業部(年間行事等に関する事業)

- 第40回 懇親旅行の実施
  - 9月下旬～10月中旬に日帰りまたは1泊旅行を企画
  - ※詳細については、ホームページに案内を掲載する。
  - また、行事参加者等には書面にて通知する。
- 東実祭への参加
  - 日時: 令和5年10月28日(土)・29日(日)
  - 催し: 同窓会の部屋の設営、校章入りドラ焼きの販売など
- 令和6年新年会の開催
  - 日時: 令和6年1月27日(土) 17時00分～
  - 場所: 品川プリンスホテル
  - 会費: 10,000円(卒業後3年以内の会員は無料招待)

#### ■ 広報部(会報誌の発行、ホームページの運用管理及び広報活動等に関する事業)

- 会報誌関係
  - 東実同窓会報No.35(令和6年3月1日発行)の編集及び出版
  - 頒布(配付・送付)
- ホームページ関係
  - 随時更新及び運用管理
  - 年間行事等の情報提供及び参加者の募集
  - 会員からの各種変更届等の対応
- 広報活動
  - 会報誌の広告掲載企業の募集
  - ホームページのバナー広告企業の募集

#### ■ 会計部(予算・決算及び寄付・協賛・贈呈等に関する事業)

- 予算・決算関係
  - 現預金の出納業務
  - 当該年度の予算管理及び収支決算書の作成
  - 次年度予算の集計及び予算書の作成
- 寄付・協賛・贈呈関係
  - 卒業生への卒業記念品贈呈
  - 東実スカラシップ(奨学金)への寄付
  - 部活へのお祝い金贈呈
  - 役員会で承認可決された慶弔金・寄付金等

# 令和4年度 収支決算報告書 (第2号議案)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日まで)

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	4,354,375	4,354,375	事務消耗品費	200,000	164,049
入会金	2,790,000	2,760,000	通信連絡費	160,000	83,862
寄付金	100,000	100,000	ホームページ管理費	170,000	166,022
広告費	35,000	114,000	印刷費	70,000	53,900
総会会費	120,000	90,000	会議費	290,000	182,330
旅行会費	300,000	0	総会助成費	320,000	394,858
新年会会費	300,000	0	総会会費	200,000	90,000
東実祭	200,000	58,090	旅行助成費	100,000	0
受取利息	125	26	旅行会費	300,000	0
雑収入	210,000	50,000	新年会助成金	200,000	0
(総会)	80,000	40,000	新年会会費	420,000	0
(旅行)	0	0	東実祭助成費	70,000	11,830
(新年会)	120,000	0	東実祭費	220,000	58,090
(拡大幹事会)	10,000	10,000	会報発行費	700,000	684,125
(その他)	0	0	慶弔費	200,000	240,000
会議会費	50,000	33,000	卒業記念品費	280,000	276,430
(拡大幹事会)	50,000	33,000	積立金	0	0
(その他)	0	0	交通費	20,000	20,000
振替入金	10,000,000	10,121,032	予備費	200,000	0
			雑費	3,000	1,515
			奨学金	500,000	500,000
			寄付金(100周年記念)	10,000,000	10,000,000
			次年度繰越金	3,836,500	4,753,512
			(普通預金)	3,736,500	4,313,045
			(現金)	100,000	440,467
収入合計	18,459,500	17,680,523	支出合計	18,459,500	17,680,523

### ■積立金等次年度繰越金内訳(別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	16,826,769	0	270	16,827,039	定期預金
定期預金(三菱UFJ)	10,120,860	△10,121,032	172	0	定期預金
合計	26,947,629	△10,121,032	442	16,827,039	



### ふれあいと語らいの同窓会



## 第44回(令和6年) 定期総会開催のお知らせ

第44回(令和6年)の定期総会を下記の通り開催いたします。

記

日時: 令和6年6月1日(土)

15時00分～18時00分

場所: プラザ・アペア(蒲田駅南口)

総会終了後、会費3,000円にて懇親会を開催いたします。会費は、卒業後3年以内〔令和4年3月卒業(第97期)～令和6年3月卒業(第99期)〕の会員は、招待となりますので会費は無料です。クラス会・同期会を兼ねての参加も歓迎ですので、各期卒業のクラス幹事の方々、クラスメートの皆さんをお誘い合わせのうえ是非ご参加ください。



第43回(令和5年)東京実業高校同窓会定期総会 2023.6.3 プラザ・アペア



## 新任役員紹介



校内幹事長（教諭）小島 健市（第69期）

本年度より前任の村山隆先生の後を引き継ぎ、校内幹事長を努めさせていただきます第69期文理コース卒業の小島健市と申します。微力ではありますが同窓会と学校の橋渡しとなるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

私は商業科教諭として母校に奉職をさせていただき、今年で23年になります。現在は2学年主任として主にビジネスコースの2年生を担当しています。また、マーチングバンド部Phoenix Regiment Drum & Bugle Corpsでは監督を務めています。

少し私の高校時代を振り返らせていただきます。私が本校へ入学するきっかけになったのは、中学生の時に旧大田区体育館で観た、ブラスバンド部（現マーチングバンド部）の演奏・演技です。初めて見る迫力あるショーに「なんで歩きながらみんな揃って吹いたり・叩いたり・踊ったりできるの！」と衝撃を受け、「この学校に入学して、スネア（小太鼓）をやりたい！」と強く思いました。小中学校は野球少年だった私ですが、音楽好きな父の影響でドラムを少し触っていたこともあり、本校に入学してブラスバンド部に入部することを決めました。（父小島新市も本校の機械科を卒業しており、同期の元教諭森吉男先生・故千田一雄先生と共に故宮武茂樹先生が担任のクラスでした。）

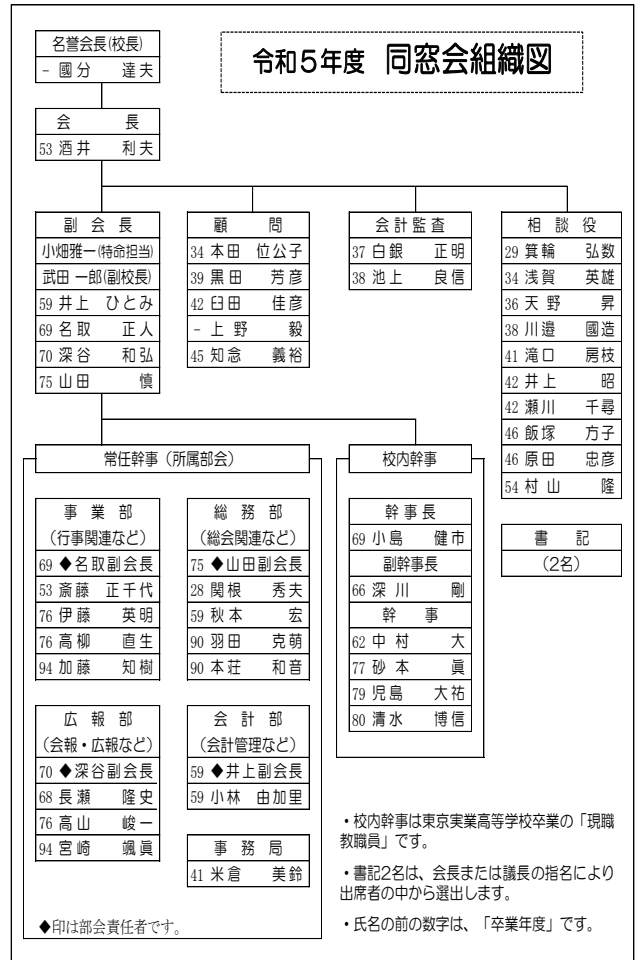
入学後は普通科文理コースに在籍し、3年間森吉男先生に担任をしていただきました。文理コースでは大学進学に向けた勉強合宿や2年生より理系文系に別れた授業展開の中で多くのことを学ぶことができました。学校行事では大井陸上競技場で行われた体育祭、四国への修学旅行が思い出に残っています。

ブラスバンド部では顧問の故有田幹雄先生・横田正明先生・三浦和弘先生の指導のもと、基礎練習から大会へ向けたショー創作まで苦しく、厳しい練習の日々でした。毎日辞めたいと思っている時期もありましたが、練習や合宿、遠征や大会を通して人間形成や生活態度といった社会に出てから大切なことを多く学ばせていただき、これが今の生徒指導の基礎になっています。同窓会の皆様には日本武道館で行われた全国大会に毎回応援に駆けつけていただきました。ありがとうございました。

東京実業高校で3年間学んだ不撓不屈、親和性実の精神をもとに、社会に出て活躍できる生徒を育てられるよう精進して参ります。

最後になりますが同窓会の皆様には毎年多大なるご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。今後とも何卒よろしくお願いし致します。

（令和5年11月22日）



## 寄付者（敬称略・卒期順）

令和5年2月1日～令和6年1月31日

No.	卒 期	氏 名	寄付金
1	第29期	箕輪 弘数	10,000円
2	第34期	本田 位公子	10,000円
3	第37期	白銀 正明	10,000円
4	第37期	平野 友治	10,000円
5	第41期	田口 清	10,000円
6	第42期	臼田 佳彦	10,000円
7	第64期	清水 誠三	10,000円
8	企 業	（株）東京セントラル	10,000円
寄付者数8件		合計金額	80,000円

貴重なご寄付をお寄せくださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。皆様からいただいた寄付金は、同窓会や母校のために有意義に活用させていただきます。

会長 酒井 利夫

# 主な行事報告

## 令和5年度(第99期)同窓会幹事会

令和5年12月8日(金)11時15分より、母校会議室にて各科(コース)のクラスより、それぞれ2名選任された16名の第99期同窓会幹事(令和6年3月卒業生)と校長・副校長・学年主任・クラス担任の先生方へ出席いただき、同窓会活動の紹介と選任された幹事の紹介を兼ねての懇談会を行いました。

國分達夫校長の挨拶に続いて、酒井利夫会長より挨拶も兼ねて配布したレジュメに沿って、クラス幹事の皆さんに同窓会の組織・運営・活動等について説明があり、併せて同窓会活動への協力と行事への積極的参加をして欲しい旨の要請がありました。

次いで、幹事に自己紹介をしていただいた後、学年主任の小島茂先生より挨拶をいただき、最後に幹事の集合写真を撮影し終了致しました。なお、第99期のクラス幹事は下表の名簿の通りです。

### 令和5年度(第99期)同窓会幹事

クラス	担任	幹事	
械A	羽田 雄	大森 一樹	安田 準晶
機械B	上原 直輝	吉田 雄一郎	小黒 嵐
電気A	田中 秀明	○鈴木 駿平	松島 空良
電気ITA	深川 剛	徳島 脩斗	五十嵐 英雅
電気ITB	永津 圭一	○田村 芳多郎	澁谷 東希
普通A	遊佐 みゆき	◎久川 豪	五十嵐 星空
普通B	田島 恵	千葉 健太	向山 将
普通C	御園 新太	有村 拓澄	田中 吾錬

- ・学年主任は、小島 茂先生です。
- ・◎印は代表幹事、○印は副代表幹事です。  
(常任幹事(事務局) 米倉 美鈴)



令和5年度(第99期)同窓会幹事

## 令和5年 拡大幹事会

令和5年11月17日(金)、18時よりプラザ・アペアにて、総勢23名(学校関係者8名、同窓会役員15名)出席のもと、拡大幹事会を開催しました。

酒井利夫会長、國分達夫校長(名誉会長)の挨拶に続いて、武田一郎副校長(副会長)より、学校の近況報告があり、次の内容について報告されました。

1. 生徒数について
  - ・令和5年3月卒業生(第98期) …274名
  - ・令和5年4月入学生(第101期) …312名
  - ・令和5年10月現在の在籍生徒数(全校計) …762名
2. 2023年春の教職員異動について
3. 在校生の活躍について
  - ・東実スカラシップ表彰生徒  
認定生徒総計…89名(学業・資格・技能、スポーツ・文化)
  - ・体育祭実施(全校生徒全員参加にて)  
6月21日(水)、駒沢体育館にて実施
  - ・東実祭開催  
10月28日(土)校内開催、29日(日)一般公開
  - ・クラブの活躍

野球部、男子サッカー部、陸上競技部、マーチングバンド部、レスリング部の活躍状況

4. 永年勤続表彰者について  
20年…1名、10年…3名

学校の近況報告に続いて、同窓会の活動報告があり総務部、事業部、広報部、会計部の各部会責任者(担当)より事業の経過報告が行われ、予定の議事日程はすべて終了し、会議は閉会いたしました。

会議終了後、懇親会が開催され、指名により私(白田)が挨拶した後、小島健市先生(校内幹事長)に乾杯の挨拶をしていただき会食・懇談に移り、学校・同窓会相互の協力・連携等について意見交換を行いました。

(顧問 白田 佳彦)



拡大幹事会(プラザ・アペア)

## 第40回 懇親旅行

本年度は、5月にコロナ感染症がインフルエンザなどと同様に5類感染症に位置づけられ、行動制限が緩和されたこともあり、9月下旬~10月中旬に第40回目の懇親旅行を計画し、実施に向けて準備を進めて参りました。しかし、コロナ禍で3年間中止したことや参加されていた常連の方々が高齢になり、参加することが困難になったこと。また、若い会員の方々の参加が見込めず、

参加者が少人数のため、団体旅行としての実施が難しく、止むを得ず中止することといたしました。

実施を楽しみにされていた方々には大変申し訳なく存じますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

(会長 酒井 利夫)

## 令和5年度 東実祭

## 東実魂～新たな歴史を繰り広げる輝かしい文化祭～

令和5年度の東実祭は、10月28日(土)・29日(日)の2日間にわたって開催されました。

4年間コロナ禍の影響で実施形態や企画内容などに制限を受けて開催されましたが、本年度は感染症(コロナ、インフルエンザ等)の感染予防対策を講じたうえで、従来通りの東実祭の取り組みに戻って実施されました。

28日は校内開催日で、同窓会は29日の一般公開日に“同窓会の部屋”を設けて、歴代の卒業記念アルバムの公開や会員の作品展示などを行いました。

部屋には、同窓生(家族同伴の方も)だけでなく在校

生も訪れて、同期・先輩・後輩の卒業アルバムを懐かしく閲覧されていました。また、姉妹(兄弟)校の東京高校同窓会役員の方もご来場くださいました。

また、恒例となった“校章入りドラ焼き”の販売は、校庭のテントと親師会のバザー会場の2か所で販売し、好評で用意した1,000個は閉会前に完売！しました。

この東実祭に同窓会の一員として参加し、後輩たちの躍動感に溢れ、高校生活を楽しむ姿を拝見出来て大変嬉しく思います。

(顧問 本田 位公子)



同窓会の部屋



校庭(ステージ右横にて“ドラ焼き”販売)



校章入りドラ焼き

## 令和6年 新年会

## ～4年ぶりの新年会～

コロナ禍で令和3～5年の3年間中止となっていた新年会は、令和6年1月27日(土)17時より、品川プリンスホテル・メインタワー17階(オパール)にて、学校現・元教職員並びに八十寿を超えた大先輩の第29期生から昨年卒業の第98期生の会員まで、年齢差70歳近い同窓会ならではの多彩な顔ぶれが集うなか、上野塾理事長、東京高校同窓会役員3名様をご来賓にお迎えし、同伴の子ども4名を含む総勢61名の参加のもと、開催いたしました。

開会に先立って、元日に発生した能登半島地震で被害に遭われた犠牲者の方々にに対し、黙とうが捧げられた後、司会の山田慎副会長の開会の言葉で始まり、酒井利

夫会長、上野雅子理事長、國分達夫校長(名誉会長)の挨拶に次いで、ご来賓の東京高校同窓会会長三枝香容子様よりご祝辞をいただいた後、武田一郎副校長(副会長)の乾杯の発声により開宴となりました。

普段は、あまり話す機会がない先生方や先輩後輩の垣根を越えて和気藹々の懇談が続く中、地域の福祉施設やイベントなどで個人ボランティアとして活動されている第38期生の長坂訓弘さんによる「ヒロくんと歌おう・話そう腹話術」の素晴らしい好演を楽しむうちに閉会の時間を迎え、最後に全員で校歌を斉唱し、井上ひとみ副会長の閉会の言葉で盛況のうちに終了しました。

(顧問 臼田 佳彦)



## 会員通信欄

### 第43回定期総会案内状の返信ハガキより

#### ○浜住 芙美枝 (第34期)

会報ありがとうございました。創立100周年、おめでとうございませう。『東実』は亡き父が勧めてくれました。お蔭さまにて素晴らしい3年間を学ばせていただきました。また、二人の妹も学んだ母校でもあります。皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

#### ○沢畑 鋭次 (第35期)

散歩と趣味の釣りを楽しみながら、健康に過ごしています。

#### ○河西 八重子 (第35期)

毎年、同窓会報楽しみにしております。担当者の皆様ありがとうございます。

#### ○山崎 宏志 (第37期)

80歳は今年6月28日で成立します。今、団地の管理組合の理事長を担当しているため、動きがこれほど思われることが多く対応に目置いています。こんなことで今回は不参加とさせていただきます。

#### ○日下部 銃五郎 (第38期)

学園のまた創立110周年、そして125周年へのスタートに際して、ご発展をお祈り申し上げます。

#### ○中村 正弘 (第38期)

毎日元気に過ごしています！ただし、通院（眼科、糖尿病、高血圧）は欠かせないです。故に、禁酒、食事療養中でもあり欠席させていただきます。

#### ○本田 俊弘 (第41期)

学校創立100周年おめでとうございませう。我が母校の卒業生として大変嬉しい限りです。今後も母校の繁栄を心から願っています。今後共よろしく願っています。

#### ○須藤 誠 (第41期)

連絡ありがとうございます。元気で毎日を過ごしています。

#### ○石崎 淳 (第63期)

役員の皆様お疲れ様です。日頃の会の運営に際し、感謝いたします。有難うございませう。

### 封書にて (令和5年5月30日)

#### ○平野 友治 (第37期)

いつも会報送っていただいで有難うございませう。厳しい時代に発展を続けている東京実業を誇りに思い読ませて戴いています。

私は昭和32年集団就職で福島から上京し、翌33年定時制の商業科に入学し、4年間お世話になりました。

卒業後学校には大変ご無沙汰しましたが、60歳を過ぎてから急に懐かしくなり学校を訪問し、受付で話を伺いました。その翌年から会報を送っていただくようになりました。連絡ができる同窓生は居ませんので、野球の東京予選と会報が楽しみです。野球は以前から強いので、いつも応援していますが、神宮球場の試合のときは一人で行き応援してきました。

書きたいことは沢山ありますが、これで失礼します。益々の発展を祈念いたします。少額ですが（寄付金を）同封しますので、何かの役に立ててください。

### 会報のバックナンバーを閲覧して(令和5年3月2日)

#### ○星山 嘉昭 (第38期)

☑ No.18号の物故者名簿に私の叔父（父親の弟）星山明（第17期）が、平成17年8月逝去として掲載されてました。葬儀に参列した私は同窓会のこととは全く頭に無かったので、お知らせくださった方また事務局のみなさまに感謝でいっぱいです。

☑ No.26号に中学校の同級生（横浜市保土ヶ谷区鶴ヶ峰中学校）の飛田昭君が大きく載っていて、座間市議会議員を7期も勤めてられたこと知り驚きでいっぱいです。彼は剣道部主将で野球部部員の私は無理を言っって剣道部で体験練習をさせてもらいました。普段は大人しいけど竹刀を持つと強く軽くあしらわれました。こいつは強い男だとその時感じました。大人になっても変わらず強い男だったんですね…。

☑ No31号を拝読して、母校が東北高校と兄弟校交流のこと知りました。同窓会事務局の皆様のおかげでこの年になって同窓会の一員として、胸を張って母校の名を言えます。

## 物故者(敬称略)

下記の方が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

卒期	氏名	没年
第23期	矢島 久夫	令和5年1月
第25期	山口 隆男	令和4年8月
第25期	星野 博	令和4年10月
第26期	須山 広昭	令和5年8月
第28期	八木 治	令和2年
第29期	市川 四郎	令和4年11月
第32期	石井 孝好	令和2年10月
第33期	竹内 正雄	令和4年11月
第34期	亀村 進治	令和5年2月
第35期	鈴木 皓功	令和4年10月
第35期	小山 宏明	平成27年6月
第35期	末永 友昭	令和4年8月
第35期	阿部 幸夫	令和3年12月
第36期	伊豆倉正信	令和5年8月
第40期	並木 充雅	令和2年7月
第40期	杉田 正一	令和元年7月
第62期	中里 仁俊	令和元年

## 物故者 memo

### 故末永友昭 (第35期) 氏の奥様より

主人は令和4年8月3日に残念ながら他界いたしました。81歳でした。東実同窓会報No.30に寄稿（「総会・懇親会に出席して」）をしていました。自立心が強く亡くなる前日まで迷惑をかけることなく、やれる範囲は自身でやっておりました。長寿とはいきませんでした。同窓会報は故人にとっては「青春を思い起させる宝物だったでしょう…」と思います。

## 寄稿・投稿欄

## 第38期機械科B組クラス会



星山 嘉昭 (第38期)

今年も東実祭に13名(他のクラス3名を含む)で参加しました。祭りのイベントを見学した後、近くの居酒屋で例年通りクラス会を開催。卒業して4回目の成人式(80歳)を祝って乾杯。いつまでたっても話が尽きないので、近くのカラオケに移動、飲んで歌い大いに盛り上がったクラス会になりました。

来年の話になり、健康に留意して東実祭には参加しよう、総会にも参加をしようと決めました。また、話は大きくなり、機械科B組だけでなく機械科、商業科、女子商業科の同期にも働きかけて、「38会(さわやかい)」のような集まりをつくろうよ〜。と言う話になりました。垣根を越えた同期会が実現出来たらと思っております。

東実卒業生の輪を広げ先輩、後輩の垣根を越えた仲間との集いが実現出来たらと夢は広がります。母校の後輩たちの活躍が私たちの元気な源です。

同窓会役員の方々には、感謝の気持ちでいっぱい입니다。これからも、よろしくお願いいたします。



母校にて集合・東実祭参観



蒲田西口の居酒屋にて

(令和5年11月29日)

## 「第38期機械科B組クラス会」の仲間たち

私達3年B組のほとんどのメンバーは、一昨年の同窓会報No.32から送付いただき、76歳で55~6年ぶりに東実同窓会会報を手にして感激しました。それまでは3年B組の長坂訓弘君を中心にミニクラス会を60歳ごろから機会があるたびに行っていました。そのクラス会のメンバーとプロフィールを紹介させていただきます。

## ■メンバー (2023.11.1 現在)

**機械B組:** 私(星山)、長坂 訓弘(柔道部副将)、戸田 孝(バレーボール部主将)、高木 強一(体操部主将)、斎藤 克雄(バスケット部立上げメンバー)、竹藤 寛、大山 健次、渡辺 義志、石井 満、池亀 公夫、斎藤 光司、中村 正弘、槻田 直美、**機械C組:** 飯塚 守昭(野球部主将)、森 慧助、**機械D組:** 池上 良信、**商業D組:** 川邊 国造、菅野 一雄(野球部)

## ■プロフィール等 (一部の者のみ)

① 長坂君は、主催している作品展を毎年5月に川崎・溝の口の高津市民ギャラリーで開催しており、その時に仲間が集まっています。今年(2023年)は、戸田君は水墨画、私は写真を出展させていただきました。また、長坂君は夫妻でボランティア活動を20年しており、東日本大震災の時は福島の避難所に慰問、現在も川崎市内などの高齢者施設などへの慰問活動を続けてます。

② 戸田君は、毎年東京都美術館で仲間と水墨画展をやっていました。この時、都合の付く者が集まっていたが、コロナ禍で中止になり、今年は長坂君の主催している高津市民ギャラリーでの作品展に急遽出品することになり、この時も都合の付く者が集まりミニクラス会的な集まりになってました。(星山 嘉昭 記)

## 母校野球部の試合観戦

母校の野球部の春、夏、秋の東東京高校野球大会予選の試合が神宮球場で行われる時は、バックネット裏に集合することになっています。その際には33期~38期の元野球部員にも会えます。或る年、元バレー部の顧問西沢和決先生と戸田君と対面し、2人は感激してました。

私と長坂君は、神宮球場だけではなく江戸川球場など観戦出来る所には1回戦から行ってます。私が応援に行けない時でも長坂君は春・秋の大会予選は都合がつけば全て観戦に行ってます。そして、その内容を知らせてくれますので、宮城県に居ても距離を感じていません。

今年(2023年)の7月12日(水)江戸川球場にて行われた東東京高校野球予選・対高島高校戦は残念でした。

“攻撃で勝って守備で負けた!!” 選手にとって最高に悔しい戦いだと思う。この悔しさをバネに上を目指して頑張りたいです。球場での応援は、第38期生5名(B組:長坂、戸田、星山、C組:飯塚、森)の他に元東実教職員の方2名の7名で並んで応援しました。生徒さんの応援、そしてマーチングバンド部の応援は素晴らしかった。まるで甲子園で応援している気分でした。スタンドで応援すると10歳以上だまって若返ります。私は、宮城県東松島市に在住していますが、スタンドで応援できる試合は、車の運転が出来る限り行きます。今回は、10日(水)出発して14日(金)に帰宅の車中泊で4泊5日の1人旅で走行距離988kmでした。行きと帰りに一回ずつ温泉に入っての快適なドライブでした。(星山 嘉昭 記)

## 同窓会に寄せて

鈴木隆之 (第68期)  
(大田区議会議員)

東京実業高等学校 1993 年卒業の鈴木隆之と申します。現在本校が所在している地元大田区で、区議会議員を務めております。私が入学を希望したきっかけは、中学3年生の頃、学校へ近隣の高校の先生方が、それぞれの学校紹介にお越しいただいた時のことでした。当時校長を務めておられた、井上稔先生が生徒に向けたメッセージの中で「高校生活の中で、それぞれ固有の能力を身に着ける努力をください。もしそれが叶わなければ固有の人生観を見つけなさい」その言葉が当時の私の胸に深く刺さり入学を決意しました。当時東実男子校で、男同士飾らない正直な仲間たちと、泣き笑い楽しい3年間を過ごすことができました。入学後間もない頃経験した鍛錬合宿や体育祭、修学旅行などどれも私の青春時代を美しく彩ってくれた素晴らしい宝物となっています。

昨年は母校創立 100 周年を迎え、祝賀会には恩師をはじめ、大勢の方々と久しぶりにお会いすることができ時計の針が数十年巻き戻った、素敵な時間をいただきました。大田区議会第 62 代議長としてご紹介いただき、当時からわずかでも成長できた自分の姿を恩師に見ていただけたことを嬉しく思っております。

100 周年を迎えた東京実業が 150 周年、200 周年に向かって、本校の精神が後輩たちへ引き継がれていくことを、心から願ってやみません。これからも東京実業高校卒業生として恥じぬよう、母校をはじめ、お世話になった地域社会へお返しができるよう、努力をして参る所存です。



### 鈴木隆之 (Suzuki Takayuki) プロフィール

#### 【出生】

昭和 49 年 5 月 大田区上池台生まれ

#### 【略歴】

大田区議会議員／みどり幼稚園-小池小-大森六中-東京実業高校-上武大学商学部／東京青年会議所大田区委員会第 36 代委員長／田園調布消防団 第 5 分団班長／久が原東部八幡神社氏子 若衆頭会 副幹事長／TOKYO 自民党政経塾 第一期生／平成 29 年度 令和元年度 令和 2 年度 会派幹事長／令和 3 年 大田区議会第 62 代議長

#### 【ホームページアドレス】

<https://t-suzuki.com/>

## 後輩の皆さんに伝えたい事

常任幹事

羽田 克萌 (第 90 期)



学生から社会人という立場に変わる事で一番の変化は、対人関係や自分の人生に対しての責任になります。親や学校が守ってくれない自己責任の世界になります。逆に言えば自分で責任を取れるのであればどんな人生を送っても自由です。

今後皆さんは好きに生きて、自由に人生を送る事ができます。自分自身にとっての理想の生活も人それぞれで働き方や生き方は自由です。皆さんが人としてどう生きたいかによって目指す収入も異なります。結婚して子供を育てるのが正解というわけでもありません。最低限自分が幸せに生きるだけのお金を稼ぎながら悠々自適に旅行をしながら生活している友人もいます。

そうした無限の可能性の中で、皆さんに伝えたい事は自分自身が幸せである事、親兄弟を大事にする事、自分を大切にしてくれる人を大切にする事。そして他人を不幸にしない事です。金銭面や心の余裕が無くなり自分の事しか考えられず犯罪に走ってしまう人もいます。

こうしたことを未然に防ぐためには、自分の人生にとっての最低限の保証を持つことです。もし、会社の倒産や事故にあって働けなくなってしまった場合の最低限の保証は何でしょうか？一つは生活保護の保証で、国が守ってくれます。その保証を受けるためにはルールを守り義務を果たしていれば良いわけです。ですが楽しい人生を歩むために必要で、結局最後に皆さんを助けてくれるのは家族や友人です。素敵な人と関わるために皆さん自身が他人から素敵な人だと思われるように生きて欲しいと思います。

そして、これから社会人という立場になるうえで覚えておいて欲しいことは、面倒な事からは逃げない事、但し、辛い事からは逃げても良い事です。面倒だからと逃げていると、犯罪や割の良くない仕事しか無くなってしまいます。しかし、人生は長いです。辛い環境で無理して生きようとしても幸せには成れません。人間関係や向いていない仕事等で精神をすり減らす必要はありません。人を使う側の人間は「ここで無理ならどこに行っても無理だ」等、適当な事を言い、皆さんをいように使おうとしてきますが、そんなことはありません！努力さえすれば楽しくて、素晴らしい同僚に恵まれた職場や生き方は必ず見つかります。

自分の目指す最高の人生を明確にして、すべき努力からは逃げずに無駄なリスクは避けて他人のためではない自分のための人生歩んでください。

それが私から皆さんにお伝えしたい事になります。

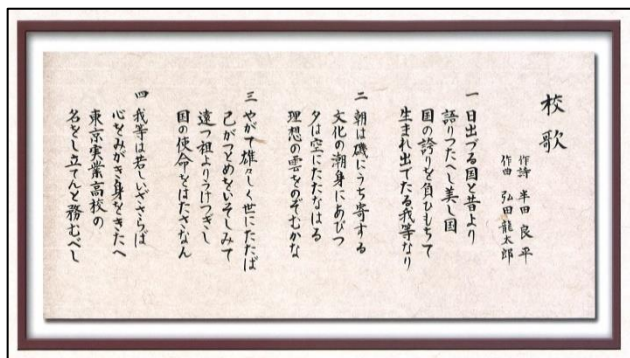
# 校歌を作詞された半田良平先生

【本寄稿文は、平成30(2018)年11月、本田位公子(第6代会長)と臼田佳彦(第7代会長)が、本校100周年記念事業の一環として共作した冊子の中から抜粋したものです。作成にあたり、小林邦子著『半田良平の生涯』を引用しました。】



半田良平先生 (1887~1945)

## 東京実業高等学校の校歌



### 1. はじめに

東京実業高等学校(以下、本校という。)卒業生、在校生の皆さん、本校の校歌は、ご存知ですね。在校中、なんども歌唱し、卒業後、同窓会、クラス会などで口ずさみ、高校時代の思い出を、より深いものにしてきました。詞により、人の心を温かく、懐かしく、涙することが出来るのは、校歌ではないでしょうか。

皆さんは、この校歌を作詞した方に注目したことはありますか。どのような方だろうか、本校とどのような関係があるのだろうか、考えたことはありますか。

校歌を作詞した「半田良平先生」について、紹介します。

### 2. 半田良平先生(1887~1945)の略歴

#### (1)『日本大百科全書(ニッポニカ)』解説より

歌人。栃木県生まれ。東京帝国大学英文科卒業。生涯東京中学校(現、東京高等学校)教員だった。

中学生のころから作歌し、窪田空穂(くぼたうつぼ)の「十月会」に参加、「国民文学」創刊に加わる。大正8年(1919)歌集『野づかさ』を刊行。写実的で骨太い歌風は農民的でもあり、昭和期には、戦争への重苦しい時代を見抜く知的な作をなし、没後の『幸木(こうぼく)』(1948)に、戦死の子を歌う悲痛な作品を残し、芸術院賞を受賞。歌論集『短歌新考』『短歌詞章』などのほか、国文学、古典

和歌に関する著書があり、アーサー・シモンズの翻訳などもある。

#### (2)東京中学校・東京実業学校の教師

「国民文学」への寄稿を続けながら、生活のために翻訳業に努力したが、十分な生活費が得られず、大正4年(1915)東京中学校に英語教師として奉職した。東京中学校には、良平の思い描く英語教育を、自由に行える校風があった。また、知り合いに山本有三(『路傍の石』の作者・東京中学校の卒業生)がおり、その推薦が校長の上野清にあったのではないかと、いつ頃からか、ついたあだ名は「山賊」、さらに数年後には「消防ポンプ」。授業開始のサイレンが鳴っているさなかに早くも教壇に立つためであるが、生徒たちの信頼は強かったという。東京中学校の勤務は生涯続いた。

大正11年(1922)、上野清は、私学経営の一つの方向が「職能教育」にあるという考えのもと、「次代のための実業教育」「社会に役立つ人物育成」をめざし、東京実業学校(現、本校)を開校。良平は本校の校歌を作詞するとともに、東京中学校と本校の教師を兼務する。

本校においても、知性と感性を調和させようと勤め、高潔な生き方を教えた良平の高邁な精神と人柄は多くの生徒たちに慕われ、戦時下、良平が肋膜炎で療養中の自宅へ不足がちな食料をもって、卒業生が訪れたこともあった。

#### (3)小林邦子著『半田良平の生涯』より

○ 翻訳業に努めた良平だが、一家の主として家計を支えるには十分な収入は得られず、長女悠紀子が誕生した大正4年(1915)、良平は東京中学校の教師となった。

仙台の二校よりの教授職依頼を固辞し、後に空穂(窪田空穂・1877~1967・歌人・国文学者・長野の生まれ)より早稲田大学教授の誘いもあったが、東京中学校に奉職。勤務は生涯続いた。

校長の上野清は、明治時代の数学教育に多大な貢献をした人物で、明治5年(1872)に18歳で上野塾を創設した。上野は何度か校名の変更や移転を行い、明治32年(1899)に東京中学校(現在は東京高等学校)とした。

良平が教授職を断り、また公立学校教師を避けた理由は、私立中学校にはまだ自由があったからと考えられるが、現役補充兵として体験した軍隊生活が、良平の未来への思惑の何かを変えたと言ってもよいだろう。

○ 東京中学校の英語教師として勤めながら、昭和7年(1932)より学校の野球部部長を引き受け、対抗試合ではアンパイアをつとめることがあった。日本では早慶戦の始まった明治の末頃から、徐々に野球熱が浸透し、学生野球の人気は中学校にも及び始めた。

現在の高校野球の前身である全国中等学校野球大会が、大正4年(1915)に始まったが、東京市の予選の試合に、良平は墨審として臨んだ。そのためルールに詳しくあった。

○ 良平は発病した昭和18年1月に教職を辞任する決心をし、東京中学校に辞表を出したが、良平の辞職を惜しみ、苦境も配慮して学校側は辞表を返し現職に留めた。

荒木貞夫陸軍大将、嶋田繁太郎海軍大将を卒業生に持つ東京中学校は、東京帝国大学出身の良平を誇りとしていたのである。

○ 良平は徐々に快復し、翌19年(1944)4月、1年3か月振りに東京中学校の勤務に復帰した。

この年、国は学徒勤労令を出し、中学校以上の生徒ほぼ全員は、軍需工場などに動員されていた。

### 3. 半田良平先生の写真（本校卒業アルバムより）



昭和元年(1926)卒業(第1回卒業生)アルバムより(下左端)



昭和8年(1933)卒業アルバムより、弁論部顧問(前列右)

### 4. 半田良平略年譜（小林邦子著『半田良平の生涯』より）

半田良平略年譜	
明治20年(1887) 9月10日、栃木県上都賀郡北大飼村深津(現、鹿沼市)に生まれる。父勝蔵、母さく(鈴木氏)	大正8年(1919) 32歳 次男克二誕生。歌集『野つかさ』出版。
明治27年(1894) 7歳 北大飼尋常小学校(現、鹿沼市立津田小学校)入学。(入学時6歳)	大正9年(1920) 33歳 『名所めぐり最新旅行歌選』を刊行。
明治30年(1897) 10歳 姿川尋常高等小学校(現、宇都宮市立姿川中学校)入学。	大正10年(1921) 34歳 三男信三誕生。院展、二科展、帝展の批評を報知新聞に連載。
明治33年(1900) 13歳 栃木県宇都宮中学校(現、宇都宮高等学校)入学。新聞、雑誌に短歌の投稿を始める。	大正12年(1923) 36歳 次女佐枝子誕生。近衛歩兵第四聯隊後備兵として召集に応じる。『芭蕉俳句新釈』出版。
明治38年(1905) 18歳 東京の岡田道一、村松英一より文通を求める葉書。修学旅行の途次、英一と対面する。	大正13年(1924) 37歳 歌論集『短歌新考』、新釈和歌叢書中の『大隈言道歌集』『香川景樹歌集』を刊行。
明治39年(1906) 19歳 受験勉強のため上京。窪田空穂の十月会に初参加。9月、仙台の第二高等学校英法文科入学。	大正14年(1925) 38歳 『芭蕉俳句新釈改訂版』『一茶俳句全集・季題別年代附』『蕪村俳句全集・季題別』出版。
明治42年(1909) 22歳 第二高等学校文科を卒業。9月、東京帝国大学(現、東京大学)文学部英文科に入学。	昭和5年(1930) 43歳 淀橋区(現、新宿区)上落合に新居成る。
大正元年(1912) 25歳 東京大学文学部英文科を卒業。東京大学大学院哲学科美学に入学。12月、現役補充兵として召集され、近衛歩兵第四聯隊に入隊。	昭和6年(1931) 44歳 改造社『現代短歌全集』半田良平篇に大正4年より昭和五年に至る作品380首を収める。
大正2年(1913) 26歳 一時帰休兵として除隊。生家に起臥す。	昭和7年(1932) 45歳 春陽堂版『明治大正文学全集』『短歌俳句編』自選の122首掲載。東京中学校野球部部長となる。
大正3年(1914) 27歳 石崎美好と結婚。『国民文学』創刊。	昭和8年(1933) 46歳 『国文要語辞典』を丸山雄二郎と共編。
大正4年(1915) 28歳 東京府下巢鴨に新居。長女悠紀子誕生。東京中学校の教師となる。	昭和10年(1935) 48歳 NHKより『短歌形態の成立』を放送。
大正6年(1917) 30歳 長男宏一誕生。6月、予備勤務召集に応じて近衛歩兵第四聯隊に3週間入隊	昭和11年(1936) 49歳 NHKより2月『早春の歌と句』、6月『初夏の短歌と俳句』を放送。 局より10月『ラジオ短歌の選評』を放送。
	昭和12年(1937) 50歳 NHKより4月『歌壇の現状』、大阪放送局より10月『ラジオ短歌の選評』を放送。『金槐和歌集』を校訂、刊行。歌論集『短歌詞章』出版
	昭和13年(1938) 51歳 長女悠紀子、林信行と結婚。『平賀元義歌集』を植松寿樹、野田美と共編して出版。
	昭和14年(1939) 52歳 NHK大阪放送局の「万葉集座談会」に出席。長女悠紀子の第一子惇子誕生。
	昭和15年(1940) 53歳 『現代短歌第二巻』『旦暮』308首、『現代短歌叢書第一巻』200首を選出。
	昭和17年(1942) 55歳 4月、次男克二を喪う(23歳)。5月、長男宏一入院。6月、日本文学報国会が設立され、短歌部門評議員となる。
	昭和18年(1943) 56歳 2月、長男宏一喪う(27歳)。同月、良平は入院加療。4月退院。5月絶望を宣告されるも、漸次快方に向かう。8月、三男信三出征。
	昭和19年(1944) 57歳 4月、東京中学校への勤務復帰。学徒勤労令により、蒲田の軍需工場に生徒を引率。三男信三、戦地サイパン島に赴く。7月、サイパン島全滅の報道、信三戦死(23歳)。10月、腹膜炎再発。
	昭和20年(1945) 4月、日本文学報国会会報の文芸欄選者は石川達三、短歌欄選者は良平に決定。空襲激甚の日々、5月19日逝去。享年57歳。
	没後 昭和23年(1948) 歌集『幸木』西郊書房より出版。
	昭和24年(1949) 5月、歌集『幸木』第5回日本藝術院賞受賞。 11月、栃木県第1回文化功労章表彰。
	昭和33年(1958) 2月、『半田良平全歌集』国民文学社より刊行。

### 5. あとがき

半田良平先生を知ったのは、本校の第1回卒業記念アルバムの教職員の写真でした。一見、大和魂を背負った武士風のいかつい感じでした。しかし、今回、作品に接することにより、イメージは大きく変わりました。生徒に対して、親和誠実、真摯に取り組む教師の姿。短歌から

は、激化する戦争の中で、あきらめることなく、真実の人間の生活、人生を追及して行こうとする優しさ、潔さ、強さを発見し、読後、納得と安心を得ました。

皆さんも是非、半田良平先生に接してみてください。  
(平成30年11月 本田位公子、白田 佳彦)



## 広報・ニュース

### 個人情報の取り扱いに関する基本方針

東京実業高校同窓会（以下、本会という。）では、同窓会が取得・保有する個人情報の取り扱いに関して、個人情報保護法の趣旨を尊重し、以下の内容で細心の注意を払って取り扱いいたします。

#### 1. 本会における個人情報の定義

個人情報とは、個人を識別できる情報で、氏名、卒業課程、卒業年・クラス、住所、電話番号、現況（勤務先や学校名）などの他に、同窓会事務局への問い合わせなどの情報を指します。

#### 2. 個人情報の利用

収集した個人情報を以下の目的の範囲内で利用いたします。

- 1) 同窓会名簿の整備
- 2) 同窓会報の送付
- 3) 各種行事の開催案内送付
- 4) 総会・本部役員会議等の開催案内送付

#### 3. 個人情報に関する機密保持

収集した個人情報については、適正な管理者のもとに適正な管理をすることで、常に個人情報の保護に努めてまいります。

#### ② 収集した個人情報は、原則として第三者への提供や開示などはいたしません。ただし、以下の場合はこの限りではありません。

- 1) 本人の同意があるとき
- 2) 法令の規定に基づくとき
- 3) 本会業務に必要不可欠であって、本人の権利利益及びプライバシーを侵害するおそれがないことが明らかなきとき

#### ③ 個人情報に関する業務を本会外に委託する必要がある場合は、機密保護、安全確保のための契約書等を委託業者との間で取りかわすなど適切な措置を講じます。

#### 4. 個人情報保護の継続的改善

社会が要求する個人情報保護が適正に実施されるように必要に応じて継続的に見直し、維持および是正または改善を図ってまいります。

平成 29 年 7 月 12 日

個人情報に関する苦情・相談窓口  
TEL: 080-1186-8945  
Mail: tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp  
東京実業高校同窓会 事務局



個人情報の保護

### 寄付金募集について

#### ■趣意

本会は同窓会（昼間部・昭和3年3月結成）と蛍窓会（夜間部・昭和4年3月結成）及び五葉会（専門学校・昭和36年2月結成）の3つの会を昭和58年12月統合し、現在の「東京実業高校同窓会」に改称して35年目を迎えます。主な事業として、定期総会・懇親会、懇親旅行及び新年会等の行事開催、会報誌の発行、学校記念行事の協賛などの活動を行っており、事業の運営費は、会員の皆様が在学中に納めていただいた終身会費1万円及び行事参加費等で運営しております。発足以来、母校の部活応援賛助金や周年特別事業協賛金などの募集を除いて、ご寄付のお願いは一切行っていませんでした。しかしながら、少子化等の影響もあり母校の生徒数は年々減少傾向にあり、それに伴って会費収入も減少し、本会の事業活動が困難になることが懸念されるため、下記寄付金募集要項に基づいて寄付金を募って運営資金に充当することにいたしました。本趣意をご高察のうえ厳しい経済環境のなか恐縮とは存じますが、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### ■寄付金募集要項

1	寄付金対象者	①正会員（卒業生） ②特別会員（現・元教職員） ③卒業生及び在校生に関わりがある者、または関わりがある法人企業。
2	募集期間	募集期間の定めはなく継続的に募集活動を行って参ります。
3	寄付金	①個人：1口につき1千円より、 ②法人：1口につき5千円より、 金額の多寡にかかわらず、有り難く受け賜われます。なお、この寄付金は任意であり税制上の優遇措置はありません。
4	申込方法	個人としてご寄付いただく場合は、同窓会名簿にて本人確認をさせていただくため、お振込みの際は、名前の前に英字のD（ディー）と卒業年（数字2桁）を付記していただくようお願いいたします。 例) D46 東実 太郎 なお、卒業年が不明の方は事務局にお問合せください。 法人・企業様等につきましては、事務局までご連絡ください。寄付の手続についてご案内させていただきます。
5	振込先	銀行：みずほ銀行・蒲田支店 口座：普通預金 0613114 口座名：東京実業高等学校同窓会 酒井 利夫（サイドノ）
6	領収書の発行	原則として金融機関への振込依頼書・払込受領書をもって領収書に代えさせていただきますが、お申し出いただければ領収書を発行いたします。
7	お問い合わせ先	ご不明な点などがございましたら、事務局担当（080-1186-8945）までお問い合わせください。
8	その他	ご寄付いただいた寄付金の総額及び延べ人数は、定期総会にて報告いたします。

平成 30 年 2 月 1 日

令和 4 年 7 月 1 日 改訂

東京実業高校同窓会 会長 酒井 利夫

# 同窓会の歩み

(沿革・会報・定期総会・新年会・懇親旅行)

年	月	沿革	会報発行		定期総会		新年会		懇親旅行		
			月	号	頁	回	月	場所	回	月	場所
S03(1928)	3	同窓会(昼間部)結成 初代会長 山田千太郎									
S04(1929)	3	蛍窓会(夜間部)結成 初代会長 常松晋晴									
S36(1961)	2	五葉会(専門学校)結成 初代会長 後藤光明									
S45(1970)	11	村松濱代 第2代会長就任									
S47(1972)	10	初版同窓会会員名簿発行									
S55(1980)	9	初代会長山田千太郎 逝去									
<b>同窓会の歩み</b> (沿革・会報・定期総会・新年会・懇親旅行)											
S56(1981)	11					1	11	(同窓会総代会) 学校体育館			
S57(1982)	10 11	第2版同窓会名簿発行 学校創立60周年記念式典				2	7	学校体育館	1	1	蒲田太子苑
S58(1983)	12	同窓・蛍窓・五葉会の3会を 統合し「東実同窓会」となる				3	7	学校食堂	2	1	蒲田満平
S59(1984)						4	7	学校体育館	3	1	武蔵新田喜久美
S60(1985)						5	11	学校食堂	4	1	蒲田弘城
S61(1986)						6	9	学校食堂	5	1	銀座ライオンスターホール
S62(1987)	6	常松晋晴 蛍窓会長逝去				7	10	学校体育館	6	1	銀座ライオンスターホール
S63(1988)						8	11	学校食堂	7	1	銀座ライオンスターホール
H元(1989)						9	7	東急イン大森	8	1	銀座サッポロスターホール
H02(1990)			6	創刊	16	10	6	東急イン大森	9	1	銀座サッポロスターホール
H03(1991)			2	2号	20	11	6	東急イン大森	10	1	銀座サッポロスターホール
H04(1992)	6 11	渡邊和彦 第3代会長就任 学校創立70周年記念式典	2	3号	20	12	6	学校小ホール	11	1	横浜ブリースベイホテル
H05(1993)			2	4号	24	13	6	学校小ホール	12	1	蒲田ステーションホール
H06(1994)	6	黒田芳彦 第4代会長就任	2	5号	28	14	6	学校小ホール	13	1	川崎日航ホテル
H07(1995)			2	6号	32	15	6	学校小ホール	14	1	川崎駅ビルカメラリアホール
H08(1996)			2	7号	16	16	6	学校小ホール	15	1	川崎駅ビルカメラリアホール
H09(1997)			2	8号	16	17	6	学校小ホール	16	1	川崎駅ビルカメラリアホール
H10(1998)	6	山本徳太郎 第5代会長就任	2	9号	16	18	6	学校小ホール	17	1	川崎駅ビルカメラリアホール
H11(1999)			2	10号	20	19	6	蒲田ア・ペア	18	1	川崎駅ビルカメラリアホール
H12(2000)			3	11号	18	20	6	蒲田ア・ペア	19	1	新横浜フジビューホテル
H13(2001)			3	12号	20	21	6	蒲田ア・ペア	20	1	新横浜フジビューホテル
H14(2002)	11	学校創立80周年記念式典	3	13号	20	22	6	プラザ・アペア	21	1	品川パシフィックホテル
H15(2003)			3	14号	20	23	6	学校小ホール 懇親会はアペア	22	1	品川パシフィックホテル(※1) ※印は親師会、桜美会と合同開催(5回)
H16(2004)	6	本田位公子 第6代会長就任	3	15号	16	24	6	蒲田プラザ・アペア	23	1	新横浜 国際ホテル南館(※2)
H17(2005)			3	16号	16	25	6	蒲田プラザ・アペア	24	1	品川 プリンスホテル(※3)
H18(2006)			3	17号	16	26	6	蒲田プラザ・アペア	25	1	川崎 日航ホテル(※4)
H19(2007)			3	18号	16	27	6	蒲田プラザ・アペア	26	1	重慶飯店別館ローズホテル横浜(※5)
H20(2008)			3	19号	16	28	6	蒲田プラザ・アペア	27	1	横浜駅西口ホテルキャメロットジャパン
H21(2009)	1	山本徳太郎 第5代会長逝去	3	20号	20	29	6	蒲田プラザ・アペア	28	1	横浜駅西口ホテルキャメロットジャパン
H22(2010)			3	21号	16	30	6	蒲田プラザ・アペア	29	1	横浜駅西口横浜エクセル東急
H23(2011)			3	22号	16	31	6	蒲田プラザ・アペア	30	1	横浜駅西口横浜エクセル東急
H24(2012)	11	渡邊和彦 第3代会長逝去	3	23号	16	32	6	蒲田プラザ・アペア	31	1	蒲田プラザ・アペア
H25(2013)			3	24号	16	33	6	蒲田プラザ・アペア	32	1	蒲田プラザ・アペア
H26(2014)			3	25号	16	34	6	蒲田プラザ・アペア	33	1	八重洲富士屋ホテル
H27(2015)	1	新校舎竣工記念式典(90周年記念)	3	26号	20	35	6	蒲田プラザ・アペア	34	1	品川プリンスホテル
H28(2016)	4 6	村松濱代 第2代会長逝去 臼田佳彦 第7代会長就任	3	27号	16	36	6	蒲田プラザ・アペア	35	1	品川プリンスホテル
H29(2017)			3	28号	16	37	6	蒲田プラザ・アペア	36	1	品川プリンスホテル
H30(2018)			3	29号	16	38	6	蒲田プラザ・アペア	37	1	横浜崎陽軒本店
R01(2019)			3	30号	20	39	6	蒲田プラザ・アペア	38	1	横浜崎陽軒本店
R02(2020)			3	31号	16	40	6	蒲田プラザ・アペア	39	1	品川プリンスホテル
R03(2021)			3	32号	16	41	6	蒲田プラザ・アペア	40	-	コロナ禍により中止
R04(2022)	6 10	酒井利夫 第8代会長就任 学校創立100周年記念式典	3	33号	16	42	6	蒲田プラザ・アペア	41	-	コロナ禍により中止
R05(2023)			3	34号	28	43	6	蒲田プラザ・アペア	42	-	コロナ禍により中止
R06(2024)			3	35号	24	44	6	蒲田プラザ・アペア	43	1	品川プリンスホテル



## 本会報誌について

### ■ 頒布（配付・送付）

本会報誌は、発行年度の卒業生には直接配付し、卒業されてから3年までの会員、同窓会役員、行事出席者、寄稿者および広告掲載企業様等には、4月下旬に送付しております。また、定期総会や新年会開催の際に受付にて希望される方に配付しております。在庫部数に限りがありますが、クラス会・同期会等の開催の際に必要な方は、事務局にご連絡いただければ差し上げますので、ご遠慮なくお申込みください。

### ■ 写真及び随筆文等の募集

皆様からの在校中の思い出やクラス会・同期会・近況報告などに関する写真や随筆・紀行文などを募集しております。文字数は最大1100字までとし、写真の挿入（ただし、1枚）がある場合は800字までとします。なお、投稿文は編集において編集担当者の判断により、加除させていただくこともありますので、ご了承ください。また、原則として投稿者の顔写真を掲載させていただきますので、ご承諾のうえご提供くださいますようお願いいたします。ご提供いただいた写真は、使用後返却いたします。

### ■ バックナンバーの閲覧

本誌のバックナンバー（創刊号～本号）は、同窓会ホームページで閲覧できます。是非ご覧になってください。

東京都大田区南馬込5-22-10  
 TEL (03) 3771-7100 営業時間 17:00~23:00  
 携帯 (080) 5375-8552 月曜定休 (祝日の場合営業)

美しい日本語を大切に

## 株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095  
 東京都大田区多摩川1丁目18番5号  
 TEL.03-3758-0710  
 FAX.03-3758-2821  
 第56期 佐々木 健

パソコン・一般家電 修理・販売  
 お気軽にご相談下さい

## 有限会社 深谷電器

〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16  
 (御嶽山商店街内)  
 電話: 03(3728)1446  
 E-mail: NQF15990@nifty.com  
 第70期 代表取締役 深谷和弘

# SK NC旋盤加工

おかげさまで50周年

## 有限会社大坂製作所

〒144-0045 東京都大田区南六郷1-34-13  
 TEL.03-3735-0379 FAX.03-3735-0379

## 東京実業高等学校同窓会

東京実業高校同窓会会員総数  
 第98期 (令和5年3月) 卒業生まで

( ) 内の数字は女子会員

会員数	総数	工業系			普通系	
		商業系	工業系	普通系	電気科	文理科
総数	38,190	14,265	18,051	5,874		
うち女子	(3,703)	(2,612)	(19)	(1,072)		
昼間部 (同窓会)	総数 33,964	11,910	16,180	5,874		
(大正15年~令和5年) 98期	うち女子 (3,471)	(2,382)	(17)	(1,072)		
夜間部 (蛭窓会)	総数 3,586	2,223	1,363			
(昭和4年~昭和52年) 49回	うち女子 (228)	(228)	(0)			
専門学校 (玉葉会)	総数 640	132	508			
(昭和35年~昭和48年) 14回	うち女子 (4)	(2)	(2)			

第98期卒業生数	総数	工業系				普通系	
		機械科	電気科		ビジネス	文理	
			電気	IT			
合計	278	51	44	38	108	37	
男子	247	51	44	38	82	32	
女子	31	0	0	0	26	5	

### 移転・お引越し

産業廃棄物収集運搬・処理



### 不用品回収・処理

機密書類溶解処理



### 特別管理産業 廃棄物収集運搬



### 店舗・オフィス 解体工事



### 害虫駆除





EJ00577/ISO14001:2004  
認証取得(営業所:京浜島工場)

CLEAN & RECYCLE

株式会社 **ジー・エス**  
〒108-0072 東京都港区白金1-1-6

**0120  
12-5353**

<http://www.gs-recycle.com>

## 総合進路情報ポータルサイト



<https://www.sanpou-s.net/>

全国の大学・短期大学・専門学校・その他の教育機関など、4,000校以上の情報を掲載しています。「仕事」「資格」「学問」についての解説や、小論文や志望理由書の書き方などの受験対策、進学関連イベント情報などのコンテンツが満載です。

また適性検査の結果など、様々な方法で自分に合った学校を検索することができます。各学校の特色がわかる動画や記事特集などの情報も掲載しています。資料請求やオープンキャンパスの申込も可能です。

さんぽう進学ネットで

検索 



パソコンでも  
スマホでも!



未来をカタチにする

株式会社 **さんぽう**

東京本社



〒151-0061 東京都渋谷区初台1-31-16 初台喜番館ビル ☎03(3378)7111

支社 名古屋/大阪/福岡 ■ 営業所 仙台/新潟/広島

# いろいろな道具



## 使って清掃しています

ビル清掃管理・清掃用品販売  
東京都大田区西蒲田8-10-10

株式会社 一元



## 私たちがつなぐもの

それは、だれかの安心、

だれかの笑顔、

だれかの願いだから、

あたりまえの日常を、ささえつづけるために

つなごう、想いを、明日を。

ひとりひとりが、未来を灯す。

**KANDENKO**

〒108-8533 東京都港区芝浦4丁目8番33号 <https://www.kandenko.co.jp/>



**gth**  
KATATAMAGI INSTITUTE  
学校法人片柳学園

大学でも専門学校でも  
片柳学園なら  
多彩な進路が選べる！

蒲田キャンパス

八王子キャンパス

<p><b>蒲田キャンパス</b></p> <p><b>デザイン学部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●視覚デザインコース*</li> <li>●情報デザインコース*</li> <li>●工業デザインコース*</li> <li>●空間デザインコース*</li> </ul> <p><b>医療保健学部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リハビリテーション学科</li> <li>[言語聴覚学専攻 / 理学療法学専攻 / 作業療法学専攻]</li> <li>●看護学科 ●臨床工学科 ●臨床検査学科</li> </ul> <p><b>大学院</b> ●デザイン研究科 ●医療技術学研究科</p>	<p><b>八王子キャンパス</b></p> <p><b>工学部</b> ●機械工学科 ●電気電子工学科 ●応用化学科</p> <p><b>コンピュータサイエンス学部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●先進情報専攻[情報基盤コース* / 人間情報コース* / 人工知能コース*]</li> <li>●社会情報専攻*</li> </ul> <p><b>メディア学部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生命医薬コース*</li> <li>●地球環境コース*</li> <li>●食品コース*</li> <li>●化粧品コース*</li> </ul> <p><b>大学院</b> ●工学研究科 ●バイオ・情報メディア研究科</p>
---	--

\*2024年4月新設

**東京工科大学**

〈蒲田キャンパス〉〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-444-925  
 〈八王子キャンパス〉〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎0120-444-903  
<https://www.teu.ac.jp/>



**日本工学院で学ぶ**  
〈専門士〉〈高度専門士〉取得

**日本工学院から**  
東京工科大学へ編入  
〈専門士〉+〈学士〉取得

**東京工科大学で学ぶ**  
〈学士〉取得

<p><b>クリエイターズカレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放送芸術科*</li> <li>声優・演劇科*</li> <li>演劇スタッフ科*</li> <li>マンガ・アニメーション科四年制◆**</li> <li>マンガ・アニメーション科*</li> </ul>	<p><b>ミュージックカレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミュージックアーティスト科*</li> <li>プレイヤー/フォークリスト/サウンドクリエイターコース</li> <li>コンサート・イベント科*</li> <li>音響芸術科*</li> <li>ダンスパフォーマンス科*</li> </ul>	<p><b>テクノロジーカレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット科*</li> <li>電子・電気科*</li> <li>一級自動車整備科(4年制)◆**</li> <li>自動車整備科*</li> <li>応用生物学科*</li> <li>建築学科(4年制)◆**</li> <li>建築設計科*</li> <li>土木・造園科*</li> <li>機械設計科*</li> </ul>	<p><b>スポーツ・医療カレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツトレーナー科三年制◆**</li> <li>スポーツトレーナー科◆**</li> <li>スポーツ健康学科三年制◆**</li> <li>スポーツインストラクター/スポーツビジネス/サッカー/テニスコース</li> <li>スポーツ健康学科◆**</li> <li>スポーツインストラクター/スポーツビジネス/サッカー/テニスコース</li> <li>鍼灸科(3年制)◆**</li> <li>柔道整復科(3年制)◆**</li> <li>医療事務科◆**</li> </ul>
<p><b>デザインカレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームクリエイター科四年制◆**</li> <li>ゲームクリエイター科*</li> <li>CG映像科(3年制)*</li> <li>デザイン科(3年制)*</li> <li>グラフィックデザイン/イラストレーション/インテリアデザイン/プロダクトデザイン専攻</li> </ul>	<p><b>ITカレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ITスペシャリスト科(4年制)◆**</li> <li>AIシステム科*</li> <li>情報処理科*</li> <li>ネットワークセキュリティ科*</li> <li>情報ビジネス科*</li> <li>秘書・事務/eビジネス/ホテル・観光◆コース</li> </ul>		

\*職業実践専門課程認定学科 ◆編入制度あり \*\*高度専門士付与学科  
 ●日本工学院専門学校のみ設置 ●日本工学院八王子専門学校のみ設置

**日本工学院**

日本工学院専門学校 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-123-351  
 日本工学院八王子専門学校 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎0120-444-700  
<https://www.neec.ac.jp/>

姉妹校：日本工学院北海道専門学校



## 事務局だより

### ■ 主な同窓会行事と参加のお願い ■

同窓会では、主に次の行事をおこなっており、開催時期は以下の通りです。

- 新年会 1月(最終土曜日)
- 定期総会 6月(第1土曜日)
- 懇親旅行 9月下旬～10月中旬
- 東実祭 10月下旬～11月初旬(土・日曜日)

詳細につきましては、ホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧いただくか事務局にお問い合わせください。なお、参加申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員(東京実業高等学校の同窓生・元教職員)の方であればどなたでも参加出来ますので、先輩・同期・後輩の方にご連絡いただき、お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。(事業部)

### ■ 広告掲載のお願い ■

#### ○同窓会報

本会報紙に広告掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は次の通りです。

広告サイズ	およそ寸法	色	価格(税込)
1	85×45mm	カラー	5,000円
2	A5サイズ	カラー	7,000円
3	A4サイズ	カラー	10,000円

各号の締切日は、12月中旬となっておりますので、お申し込みは、事務局に電話(080-1186-8945)またはメールにてお願いいたします。

#### ○同窓会ホームページ

ホームページにバナー広告の掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は1年間20,000円(税込み)です。詳細につきましては、ホームページの「広告バナー掲載について」の募集要項をご覧ください。随時受け付けておりますので、ホームページの「お問い合わせメール」または事務局に直接電話でお申し込みください。(広報部)

### ■ 同窓会名の電話に“ご注意、” ■

近年、同窓会関係者を騙った名簿業者から、名簿発行に伴う情報提供の依頼や購入案内が会員に届くなど、名簿を悪用した詐欺も多くなっておりますので、“ご注意、”してください。同窓会では、電話による寄付の要請や個人情報に関する問い合わせは一切行っていません。

ご家族の方にも周知されて直ぐに対応しないようにしてください。また、同窓会名でこのような電話がありましたら、必ず事務局または学校にご連絡し、ご確認ください。(事務局)

### ■ 常任幹事を募集しています ■

同窓会では、一緒に活動して下さる常任幹事を募集しています。主な仕事は、年5回ほど平日の夜に開催される役員会議に出席していただき、同窓会行事等の打合せや諸行事へ積極的に参加していただくことなどです。

同窓会の輪を広げるためにも皆様のご協力をお願いい

たします。ご協力いただける方は、事務局へ電話・メール等でご一報ください。(事務局)

## 編集後記



昨年の100周年記念号に引き続き会報第35号の発行に際し、寄稿くださった方々ならびに教職員の皆様、また広告の掲載にご理解ご協力いただいた企業様に厚く御礼申し上げます。広報部の役員交代があつてから2号目になり、まだまだ不慣れなところもございますが、少しずつ発展させていければ良いなと考えるところです。

さて、新型コロナウイルスに翻弄された時期を過ぎ、いよいよこれからというところで世界情勢の変化から来る経済情勢の変化に翻弄された年でした。コロナ禍で分断されてしまった人間関係もあり、世代交代も進んでおりますが、そんな中で再び同窓会の事業を振り返りますと、まだまだ伸びしろがある事業もあるやに思います。卒業生が現役生と混じって文化祭を運営していくということは、どこの学校でもあることではありません。同窓会としてどら焼きの販売をしておりますが、若い世代や中堅世代が団結し、新たな事業内容の提案があれば大歓迎したいと思います。3年生の時のように飲食店をやってみたい、また文化祭の見学後に同窓会を開きたいなど、それにより母校や同窓生のつながりをより一層盛り上げることに繋がれば同窓会の本意と思います。

ご質問、ご相談がありましたら info@tojitsu-dosokai.com までご連絡ください。今後とも引き続きご指導ご鞭撻、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

広報部責任者(副会長) 第70期 深谷 和弘

 <b>東実同窓会報 No. 35</b> <b>広報部</b>	
責任者	深谷 和弘(副会長)
部員	長瀬 隆史(常任幹事) 高山 俊一(常任幹事) 宮崎 颯真(常任幹事)
発行日	令和6年3月1日
編集	東実同窓会報 広報部
発刊	東京実業高校同窓会
事務局	〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 東京実業高等学校内 電話(M-phone): 080-1186-8945 E-mail: tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp
	[ホームページ] URL: http://www.tojitsu-dosokai.com/ Mail: info@tojitsu-dosokai.com
	発行人 酒井 利夫(会長)
	編集人 深谷 和弘(副会長)
協力	小畑 雅一(教諭・特命担当部長)
	米倉 美鈴(事務局) 本田位公子(顧問) 臼田 佳彦(顧問) 川邊 國造(相談役)